

カーボンフットプリントを削減

世界中の個人と組織は、私たち一人ひとりが一丸となって環境負荷を削減するために行動を起こすことが急務であることを認識しています。購入した製品やサービスが、気候、生き物たちの生態系、天然資源、水質などに及ぼす影響を理解することがますます重要になりつつあります。

非常に多くの標準化団体や業界コンソーシアムが、ICT製品によるカーボンインパクト評価手法を開発し、この取り組みを継続しています。PAIAなどのコンソーシアムは現在関連するイニシアティブに取り組んでいます。

当社のプロセスの一環として、合理化されたLCA手法であるPAIAを使用し、製品のライフサイクル全体にわたる特定の影響を予測しています。PAIAは、製品クラスのカーボンインパクトにのみ焦点を当てています。ライフサイクルアセスメント(LCA)と製品のカーボンフットプリント(PCF)から、こうした影響に特化した知見を得て、より多くの情報に基づいた購買意思決定を行うことができます。

デル・テクノロジーズは、当社が行うすべてのことに持続可能性を浸透させています。当社は、お客様と地球のためにイノベーションを行う責任を強く感じています。そのため、あらゆる手段を存分に駆使して、理想の世界に向けてテクノロジーを役立てていくつもりです。

すべてのPowerEdgeサーバーに関する製品のカーボンフットプリントレポートを[こちら](#)でご覧いただけます。

お客様の例：

英国の大手銀行が所有するデータセンターから排出される二酸化炭素は、440軒の住宅に1年電力を供給した場合の排出量に相当します。

製品のカーボンフットプリント(PCF)は、環境への影響を理解するのに役立ちます。設計の持続可能性を高めるための貴重な知見を得て、お客様の持続可能性を向上させることができます。

当社は、将来を見据えたPowerEdgeサーバーの製造に力を入れています。サーバーのテクノロジーとイノベーションが進化し続け、データセンターのパフォーマンスが向上することが同時に環境保護に寄与します。